

実験動物福祉奨励賞選考細則

(趣旨)

第1条 この規程は、一般社団法人日本実験動物技術者協会表彰規程第4条に基づき、実験動物福祉奨励賞（以下、「福祉奨励賞」という。）の選考に関し、必要な事項を定める。

(選考委員会)

第2条 理事会は、福祉奨励賞を選考するために、実験動物福祉部長を委員長とする福祉奨励賞選考委員会（以下「選考委員会」という。）を組織する。

- 2 委員長は、必要に応じ、選考委員会を招集することができる。
- 3 選考委員会は、事業年度開始時に活動を開始し、選考結果の理事会への報告をもって当該事業年度の活動を終了する。

(委員)

第3条 選考委員会の委員の員数は、実験動物福祉部員及び個人会員の中から委員長を含めた若干名とし、特に任期は定めない。

- 2 実験動物福祉部員は委員を併任することができる。
- 3 委員長は、毎事業年度開始時に専門性や地域性、経験のバランスを考慮に委員を選定することとする。
- 4 理事長は、委員長が選定した個人会員を、委員として委嘱する。但し、理事長は、本権限を実験動物福祉部長に移譲できる。
- 5 理事長は、選考している期間中に委員の欠員が生じた場合に、補充の委員を委嘱できる。
- 6 委員を交代させる場合、選考委員会の継続性を考慮すること。

(副委員長)

第4条 委員長は、選考委員会に関する職務を補佐させるために委員の中から1名を副委員長に指名することができる。

(選考の基準)

第5条 委員は、福祉奨励賞の目的を勘案し、実験動物・実験動物およびそれに関わる者の福祉向上の寄与する開発性・新規性・独創性・発展性の観点から以下に基づき本賞を選出する。

- (1) 実験動物福祉の導入により科学的データの結果が大きく改善された創意工夫
- (2) 洗練された実験動物技術に実験動物福祉が大きく寄与する創意工夫
- (3) 再現性の高い実験動物技術に実験動物福祉が大きく寄与する創意工夫
- (4) 実験動物福祉に貢献する新たな技術開発に関する創意工夫
- (5) 実験動物福祉分野およびその関連技術において優れた調査や実践に関する創意工夫

- 2 選考委員会は、その他福祉奨励賞の選考に必要な基準を定めることができる。

(選考の手順)

第6条 福祉奨励賞は、全国大会において発表された全ての一般演題の中から本賞の目的に最も適した演題1題を選考し、翌年の全国総会で表彰する。

2 選考は以下の手順による。

- (1) 委員は、演題の中から最も優れた発表を1題選出する。
- (2) 各委員より選出された演題のうち最多投票の演題1題を選考委員会における選考演題とする。
- (3) 投票が同数の場合は、選考委員長の判断により選考演題を決定する。
- (4) 選考は全国大会の終了後に取り掛かり、選考委員長は当年12月までに選考理由とともに理事会へ報告する。
- (5) 理事会は選考委員会から報告された演題1題に対し、特に疑義が無ければ表彰を決定する。
- (6) 本部事務局は選考演題の筆頭演者に対し本賞の表彰が決定したことを通知し、授賞式（総会）への参加の依頼を郵送または電子媒体により通知する。
- (7) 本部事務局は表彰状の印刷を手配し、副賞については大会主管支部に選定を依頼する。
- (8) 表彰状と副賞にかかる費用は本部の負担とする。
- (9) 表彰式では選考委員長が選考理由を述べ、理事長が授与する。

(利益相反)

第7条 選考委員会の委員が次のいずれかに該当する場合には、選考に加わることはできない。

- (1) 選考対象となった講演の筆頭演者及び共同演者である場合
- (2) 審議の公平さに疑念を生じさせる利害関係・利益相反があると委員長が判断した場合

(報告)

第8条 委員長は、選考結果を理事会に報告することとする。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は、理事会の議決による。

附 則

- 1 この細則は平成30年10月7日より施行する。
- 2 令和4年4月19日に一部改正する。
- 3 令和5年6月3日に一部改正する。